

ボランティアセンターだより

212号
2026年10月



じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金



今年も10月1日から「赤い羽根共同募金運動」が始まります。

みなさまからお寄せいただいた募金は、市内の福祉活動やボランティア活動を支える貴重な財源として活用され、その約90%が南あわじ市内で役立てられています。

共同募金運動は今年で80年目を迎えます。これまで支えてくださったみなさまに心より感謝申し上げます。これからも温かいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



募金付き自販機 >

約1割は、災害時のボランティア活動などの支援に使われます。



←私たちが作りました♪

今後の街頭募金の予定

シーパ	10月 6日 (火)
ウェルシア広田店	11月16日 (月)
時刻：夕方 16：00 頃からの予定です。	

とどけ。熊本へ

令和8年
熊本地震

このたび発生した令和8年熊本地震により、被災されたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

南あわじ市共同募金委員会では、被災された方々を支援するため、「令和8年熊本地震義援金」の受付を行っております。

また、地域の事業所・団体等のみなさまにも、義援金箱の設置にご協力いただいております。

みなさまからお寄せいただいた義援金は、熊本県共同募金会を通じて被災者の生活再建支援のために配分されます。

みなさまの温かいご支援・ご協力をお願い申し上げます。



【発行】南あわじ市社会福祉協議会

〒656-0122 南あわじ市広田広田 1064

【電話】44-3007 【FAX】44-3037

【メール】info@minamiawaji-shakyo.or.jp



@MINAMIWAJI_SHAKYO



@FLAT_HOUMU



南あわじ市社会福祉協議会 生活支援コーディネーターだより

登録サロン数
98か所
(R8.9月現在)



みんなで挑戦！泥団子づくり

in アフタースクール松帆

アフタースクールに通う子どもたちが、敷地内で粘土質の土を見つけたことをきっかけに、泥団子づくりに挑戦しました。

土を丸めて形を整え、乾かしては磨くことを繰り返しながら、「もっときれいにしたい！」と、自分が納得するまで一生懸命磨きました。大きさや色もさまざま、一つひとつに子どもたちの個性が表れています。

自分たちの作品を眺めながらも、「まだまだきれいにできる！」と、子どもたちは少し物足りない様子。次はもっとピカピカにしようと、新しい泥団子づくりを楽しみにしています。

「土って丸くなるの?」「もっとピカピカにできるかな?」そんな小さな好奇心が、子どもたちの挑戦を生み出します。うまくいかないことも、試してみることも、すべてが大切な経験。これからも「やってみたい!」という気持ちを大切に、子どもたちの好奇心が次の発見につながっていくことを楽しみにしています。



社協も、子どもたちの身近な「やってみたい」に寄り添い、新しい発見や体験が生まれるきっかけを、これからも応援していきます。

完成した泥団子は、松帆公民館に展示しました。→



ザ★男の料理教室

～料理でつながる、楽しい健康づくり～

松帆地区公民館で開催されている「男の料理教室」を訪問しました。

長年続くこの料理教室には、10年以上参加しているベテランの方から、参加して2～3年の方まで、さまざまなメンバーが集まっています。参加のきっかけもそれぞれですが、みなさん楽しそうに、いきいきと料理づくりに取り組んでいました。

この日は、コンロの火がつかないというハプニングもありましたが、元ガス屋さんがすぐに様子を見て対応。ほかにも、おにぎり作りが得意な「おにぎり名人」や段取りを考えながら作業を進める方など、それぞれが自分の役割を発揮しながら協力して調理を進めていました。回を重ねるごとに手際も良くなり、男性ならではのダイナミックな調理風景もこの教室の魅力のひとつです。

また、食生活改善推進員（いずみ会）のみなさんからは、栄養や健康についてのお話もあり、料理だけでなく健康づくりについても学ぶことができます。

教室は毎月第4水曜日に開催されています。「料理を覚えたい」「仲間づくりをしたい」「健康づくりをしたい」という方は、ぜひ参加してみませんか。料理が初めての方も大歓迎です。次回は10月28日（水）に開催予定です。お問い合わせは、松帆地区公民館（☎36-2137）まで。



★ふれあい・いきいきサロン活動のご相談は、生活支援コーディネーターへ★

南あわじ市社会福祉協議会 ☎ 0799-44-3007

